

ひと・まち 健康長寿のむら 北中城

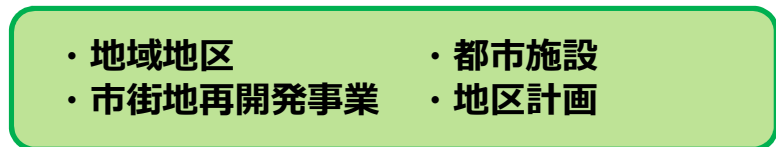
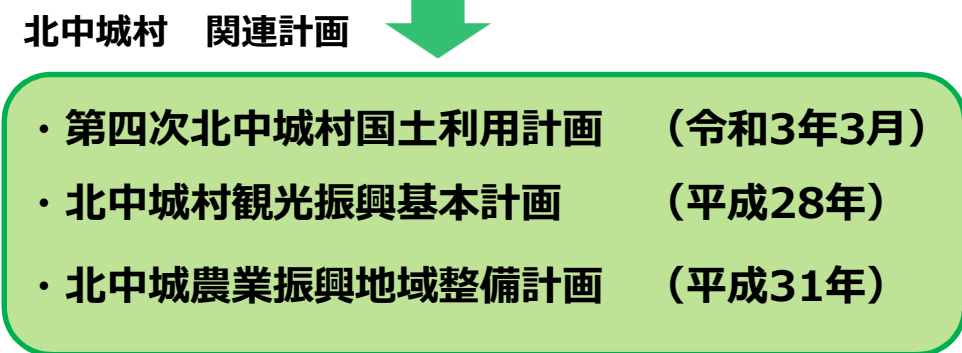
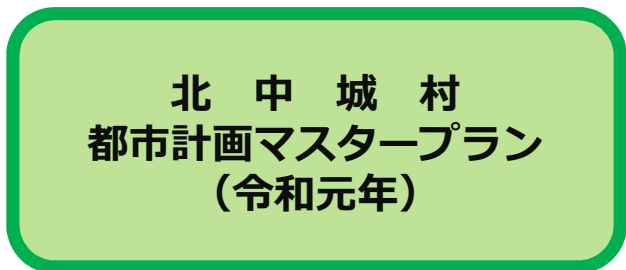
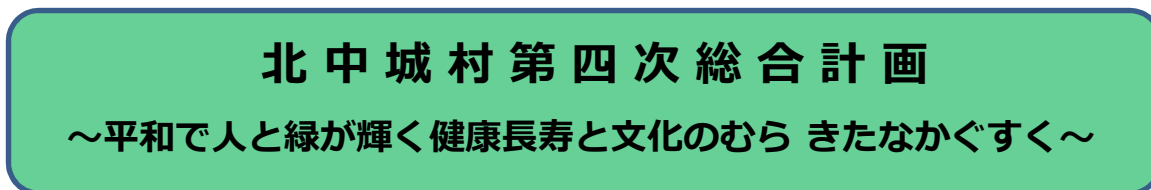
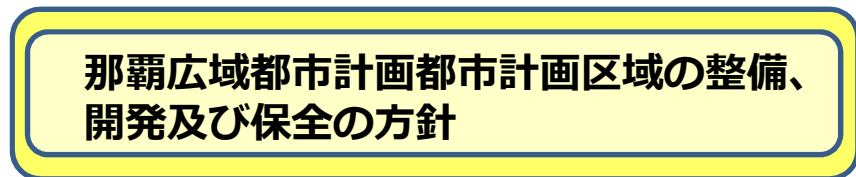
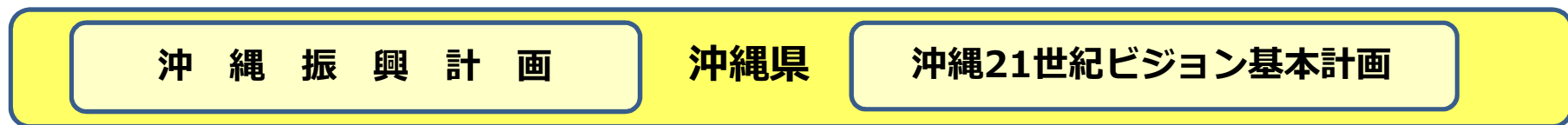
～誰もが安心安全・快適にすみつづけられるまちづくり～



北側より撮影

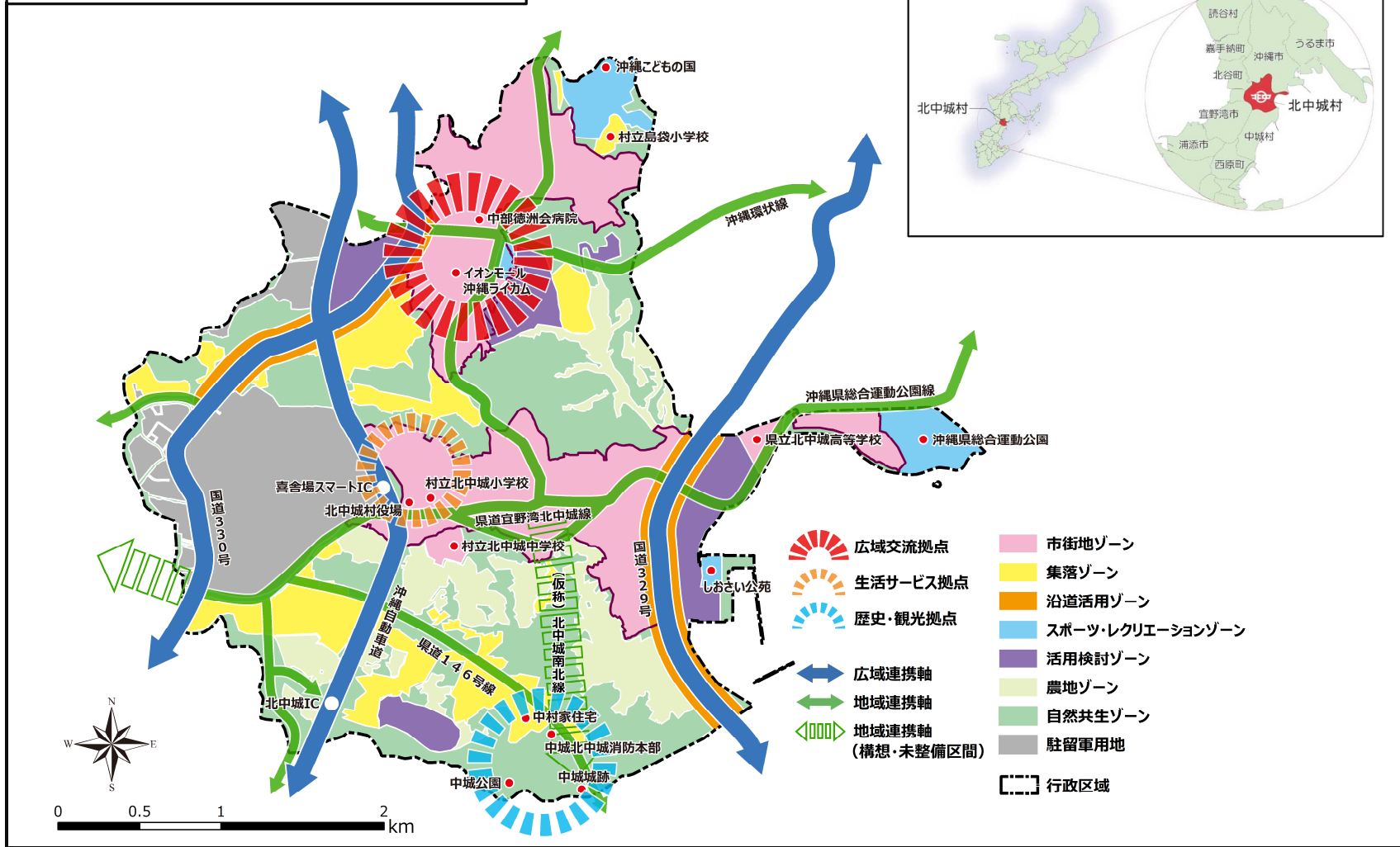
1. 上位計画、関連計画についてP1
2. 将来都市構造P2
3. 全体構想	
3-1. 土地利用の基本方針P4
3-2. 交通体系の基本方針P6
3-3. 都市環境の基本方針P8
3-4. 景観形成の基本方針P9
3-5. 都市防災の基本方針P9
4. 地域別構想	
4-1. 中部地域P10
4-2. 東部地域P13
4-3. 北部地域P16
4-4. 南部地域P19
5. 今後の土地利用の考え方	
5-1. 土地利用方針P22
5-2. 土地利用状況図P24
6. まちづくりの実現に向けて	
6-1. 近年の社会的動向P27
6-2. 社会的動向を踏まえた方向性P29
6-3. まちづくりの手法P31
6-4. 協働のまちづくりP32
6-5. 計画の進行管理P33

1.上位計画、関連計画について



2. 将来都市構造図

北中城村 将来都市構造図



■ 拠点

広域交流拠点	村の発展と生活を支える核として、イオンモール沖縄ライカムを中心に、村内だけでなく広域的な利用を想定した、交通・医療・商業・文化・福祉・観光・防災・スポーツ等の機能強化を図る広域交流拠点
生活サービス拠点	村民の日常生活を支える核として、公共施設や地域サービス施設の強化を図る拠点
歴史・観光拠点	村の歴史・文化を守り、育成する核として、村のシンボルの1つである中城城跡や県営中城公園を中心に、周辺に点在する文化財、歴史ある集落が連携した拠点

■ ゾーン

市街地ゾーン	生活利便性の高いエリアとして、ゆとりある住環境の形成を図るとともに「持続可能」の観点から人口密度の維持、生活利便性の向上を図るゾーン(主に市街化区域)
集落ゾーン	周辺の自然環境や歴史資源と調和したエリアとして、既存集落の居住環境の維持・改善するゾーン(市街化調整区域内の既存集落)
沿道活用ゾーン	広域幹線道路となる国道329・330号沿道において、立地特性を活かした沿道型土地利用を推進するゾーン
スポーツ・レクリエーションゾーン	スポーツ・レクリエーション等の核として、村民や周辺都市住民の憩いの場としての機能維持・向上を図るゾーン
活用検討ゾーン	東海岸地区、大城地区、荻道地区、駐留軍用地跡地(ロウワープラザ住宅地区)、イオンモール沖縄ライカム東側隣接エリア等において、村の活性化や魅力向上に寄与する土地活用を検討し、その実現に向けた取組を推進するゾーン
農地ゾーン	農業振興を図るエリアとして、積極的な活用により農地の保全・活用を図るゾーン
自然共生ゾーン	村の基調な財産である自然環境を守るエリアとして、港湾や森林等の保全・管理を図るゾーン

■ 軸

広域連携軸	広域連携を成す軸として、那覇市、沖縄市、名護市などの主要都市と繋がる、村の発展を支える交通軸
地域連携軸	地域内移動の利便性向上に資する軸として、広域連携軸間や村内の市街地・拠点、隣接市町村を繋ぐ幹線軸

3-1. 土地利用の基本方針

【基本方針】生活利便性の高い 住み続けられる持続可能なまちづくり

持続可能な都市構造の構築に向けた土地利用誘導

- まちの核となる拠点の機能強化
- 市街地における人口密度の確保
- 定住促進に向けた受け皿の確保
- 空家・空地の適正管理
- 無秩序な開発抑制を前提とした既存集落の維持・改善
- 市街化調整区域における無秩序な都市機能流出の抑制

自然環境の保全と活用

- 農地の積極的な利用に基づく維持・保全・活用
- 関係法令に基づく自然環境の維持・保全・活用
- 東海岸地域における交流拠点等の整備に向けた検討
- 農を活かした地域活力の創出
- アーサの養殖をはじめとした漁業環境の保全・充実

返還を見据えた駐留軍用地の跡地利用の検討

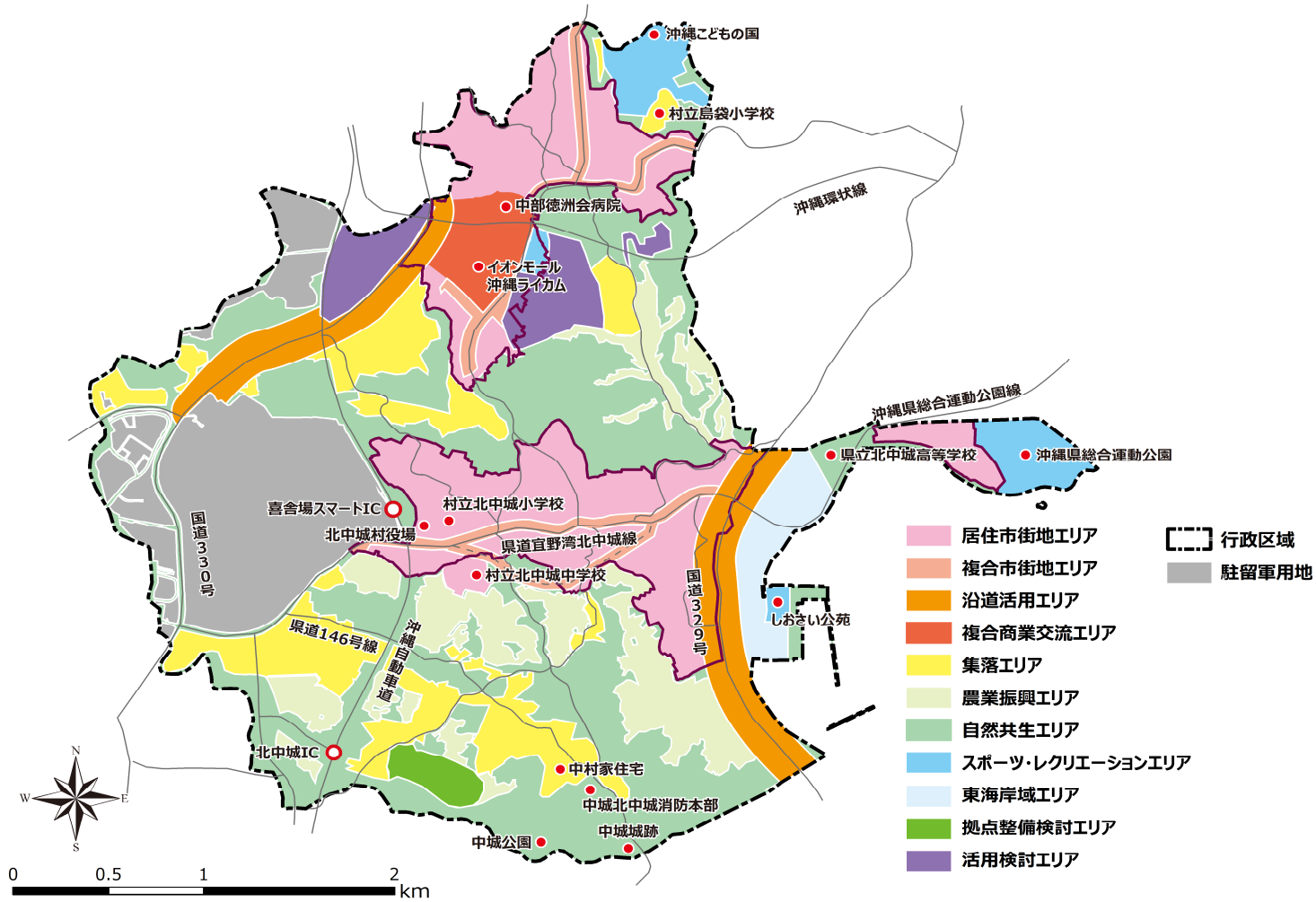
- 駐留軍用地返還を契機とした新市街地・交通結節拠点の創出
- 駐留軍用地の返還を契機とした公共施設等の再編
- 跡地利用の実現に向けた都市計画環境の整備

道路整備を踏まえた沿道型土地利用の推進

- 沖縄市等と連担する国道330号の沿道利用の検討
- 東海岸地域との広域連携を見据えた国道329号の沿道利用
- 県道バイパス整備に対応した用途地域の見直し

3. 全体構想

3-1. 土地利用の基本方針



3-2. 交通体系の基本方針

【基本方針】 まちの賑わい形成と生活利便を支える交通ネットワークの構築

都市の発展を支える広域交通網の形成

- 周辺自治体との連携強化に資する道路網の整備要望
- 喜舎場ICのフルインター化の推進
- 将来的な鉄軌道の導入との連携も見据えたネットワーク構築
- (仮)北中城南北線の整備検討

拠点・市街地連携を実現する公共交通網の形成

- 中部地域の交通結節点としての機能維持・充実
- 村内移動環境の向上に資する既存道路の維持・充実
- 多様な主体との協働による移動手段の検討
- モビリティマネジメントによる公共交通の利用促進

誰もが安心して暮らせる人に優しい交通環境の形成

- 主要生活道路や集落内道路環境の向上
- 安全・安心して移動できる歩行空間の整備
- 自転車等の利用促進に資する道路環境の形成

3. 全体構想

3-2. 交通体系の基本方針

